

菱の実

佐賀大学理工学部同窓会会報 臨時号



発行日 2017年7月1日

発行菱実会

佐賀市本庄町1 佐賀大学内

TEL 0952-23-1253

FAX 0952-25-5700

E-mail dousoukai@sadai.jp

ホームページ <http://sadai.jp/alumni/>

編集代表者 中島道夫

会長挨拶

菱実会会長 穂屋下 茂

皆様、いかがお過ごしでしょうか。理工学部同窓会の愛称は「菱実会^{りょうじつかい}」で、平成11年（1999年）8月に発足して以来、18年が過ぎました。お陰様で、昨年は理工学部発足50周年事業として理工学部50周年記念誌『歩みと想いⅡ』も発行しました。

理工学部同窓会の主な役割は、同窓生の名簿管理であります。さらに、在学生支援として、例えば卒業生を招いた理工学部キャリアデザインセミナーの実施（下図参照）や理工学部長賞共催、同窓会会長賞（卒業生対象）、菱実会賞（在学生全員対象）などを実施しております。また、卒業祝賀会・謝恩会での会長挨拶や入学式オリエンテーションでの同窓会の説明会も実施して、同窓会をより身近なものにしようと努めております。

佐賀大学では学部卒業後（博士課程修了後）、社会に飛び立ってから、卒業生（修了生）の状況（勤務先や住所等）の追跡調査が義務付けられております。それは、卒業生の行く末を見守るためでもあり、後輩の就職活動の参考に役立てるためでもあります。理工学部同窓会では、理工学部（工学系研究科）の研究科長や各学科の先生方と協力しながら、ここ数年間に卒業もしくは修了された同窓生の名簿の充実を計ることになりました。

私自身は、佐賀大学には実に40年以上の長きに渡ってお世話になっておりますが、その間にも社会情勢の移り変わりに伴って、大学を取巻く環境は目まぐるしく変化しております。特に、アウトカム（社会に出た時の実力）が重視されております。佐賀大学は「面倒見の良い大学」の具現化を目指しております。同窓会も卒業生や在学生らとの繋がりをより強固にしなが、母校を応援していかなければなりません。皆様、ご協力のほどお願い致します。末筆ながら、皆様のご多幸とご活躍をお祈り申し上げます。



* 記念誌（B5版、500頁）の残部もございます。送料込で3,500円となっております。必要な方は、同窓会事務局（本報の最後ページ）までお申込み下さい。数に限りがございますので、売り切れの場合はご容赦下さい。

理工学部キャリアデザインセミナー実施（平成28年度）

理工学部同窓会主催

学 科	講 師・勤務先	学 科	講 師・勤務先
数理科学科	阿比留拓也（H17入・数理科学科） 株式会社日本ビジネスエンジニアリング	機械システム 工学科	湊 義敬（H19入・機械システム工学科） 三井金属鉱業株式会社
物理科学科	宮下 遼（H19入・物理学科） 三菱電機電子		真崎雄一郎（H21入・機械システム工学科） 株式会社オプティム
	森山 敬太（H20入・物理学科） 株式会社佐賀電算センター 産業事業部システム1部システム1グループ	電気電子工学科	平野 秀明（H20入・電気電子工学科） 富士通株式会社
知能情報 システム学科	宮口 直之（H4入・情報科学科） 武雄市役所 企画財政部	都市工学科	田中 雄樹（H22入・電気電子工学科） 大電株式会社 技術開発本部 研究開発部
	藤井 智士（H15入・知能情報システム） 株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター		吉岡 慶太（H18入・都市工学科） 佐賀市 建築指導課 指導係
機能物質化学科	牟田 和高（H25入・機能物質化学） ニッタ株式会社 ニッタ・ムーア事業部	三藤 政信（H17入・都市工学科） 宇部興産コンサルタント株式会社	
	白木 亮輔（H24入・機能物質化学） 福岡県警察本部 刑事部 科学捜査研究所		

学部長のあいさつ

工学系研究科長・理工学部長 渡

孝則 教授

拝啓 6月を迎え、水無月であると感じさせる暑さが続いています。同窓生の皆様におかれましては元気にご活躍のことと存じます。新入生も大学生活に慣れ、緑も明るく、活気あるキャンパスとなりました。工学系研究科・理工学部では、各専攻および各学科でオリジナルな行事が活発に行われています。詳細はそれぞれのホームページをご確認下さい。

理工学部および工学系研究科では、地域に根を張り世界に通じる高度人材育成を行っています。本年度の方針を次に示します。

1. 教育

現在、教育組織の見直しを進めています。学生からは“行きたい”と思える、企業からは“採用したい”と思える、教育を目指しています。

2. 研究

未来へ展開が期待できる研究分野は、異分野融合領域にあります。そこで、本部局では組織内でのグループ研究にインセンティブを付け、推進を図ります。産学連携による研究ではターゲットを絞った研究を推進します。

3. 学生の活性化

学生の“やる気スイッチ”を押すために、STEPs（国際連携活動グループ）の活動の補助、新グループの立ち上げ（後日発表します）を行います。

4. 国際化

これまでの“人”対“人”では無く、“グループ”対“グループ”の活動を行います。これにより継続的な国際関係が構築できます。

5. 地域連携

地域企業との連携を推進するための企画を実施します。

私たちを取り巻く環境（経済、産業構造、情報システムなど）は、世界的規模で大きく変化しつつあります。このような変化にも柔軟に対応できる複眼的視点をもつ学生の育成を心がけています。また、地域産業に密着した研究にも取り組み、地域から望まれる大学院工学系研究科および理工学部となるように教職員一丸となって取り組みますので、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

同窓生の皆様へのご挨拶および近況報告（毎月更新）を下記ホームページの研究科長メッセージに掲載していますので、ご覧頂ければ幸いです。

敬具

佐賀大学大学院工学系研究科ホームページアドレス

<http://www.se.saga-u.ac.jp/gs/index.html>



各学科長のあいさつ

数理科学科

学科主任 中川 泰宏 教授

数理科学科の卒業生の皆様、ご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様が在籍されていた当時と比べると、数理科学科の先生方もかなり入れ替わりしました。

現在は11名の教員が所属しております。平成28年度の卒業生は31名でした。そのうち、大学院への進学が10名、企業等への就職が7名、教員が5名、公務員が3名でした。また、就職の決まっていない6名のほとんどが教員・公務員の再受験となっております。

ここ数年はだいたいこのくらいの数字で安定しているようです。

最近では就職活動の支援も積極的におこなっております。卒業生の方に来ていただいて講演していただく機会も増やしております。同窓会の皆様には積極的に御協力していただければと期待しております。

また、例年8月に「高等学校教諭と佐賀大学数学教員との交流会」をおこなっており、今年は第10回目を迎えるとしております。昨年度は就職活動の支援の一環として、教員を志望している学生にも参加してもらい、貴重なアドバイスをいただくこともできました。

最後になりましたが、卒業生の皆様方の今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。また、今後のご支援も宜しくお願い致します。



機械システム工学科

学科主任 辻村 健 教授

機械システム工学科は1学年定員90名、同専攻博士前期課程は28名で、数名の博士後期課程学生を含め総勢400名以上の学生が日々勉学に励んでいます。この中にはマレーシア国費留学生をはじめとするアジア・アフリカからの学生もいます。大学院生の研究活動は活発で、2016年度は日本機械学会卒業研究発表講演会やInternational Symposium on Artificial Life and Roboticsで表彰を受けています。卒業後の進路は機械系メーカーをはじめとして電気系・情報系など幅広い分野のエンジニアとして日本全国各地で活躍しています。本学科は例年売り手市場なのですが、昨年は博士前期課程2年生全員と学部4年生の5割以上が就職を希望し10月中には皆が合格通知を手にすることができました。大学院進学希望者も例年にも増して多く、選抜の結果42人が合格（先端融合工学専攻等を含む）し、所属研究室で学生生活を謳歌しています。



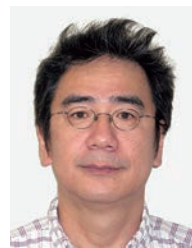
物理科学科

学科主任 杉山 晃 教授

この原稿を書き始めた時点では、物理科学科は、来年度より改組され、数理と同じ理学科になる予定でしたが、延期になったようです。根底には、理学系の学科に対して、「就職率が良くない」、「地元への貢献が少ない」など様々な厳しい意見もあることと思います。しかしながら、社会は様々な背景を持つ人員で構成されることで、多様性、補完性、柔軟性を持ち、イノベーションなどの基盤が培われるものです。これまでの先端技術が適用限界に遭遇した時、立ち返る場所は基礎となる物理である場合が少なくないことも現実です。卒業時点では、物理の学生は専門的な技術知識を持っていませんが、基礎だけは多く学んでいます。伸び代は誰よりもあると信じています。

卒業生の進路に関しては、物作り企業への就職を増やすように努力しており、少しずつ増えていると思います。物理の場合、地域への貢献の一つとして、教員養成があります。教員志望の学生には、教員採用の厳しい現実や仕事の厳しさを理解してもらい、進路のミスマッチを起こさないように取り組んでいます。進学に関しては、九大をはじめとした他大学院への進学が増えているのが最近の傾向です。

今後とも物理科学科（どうなるかわかりませんが）をよろしくお願いいたします。



電気電子工学科

学科主任 大津 康徳 教授

同窓生の皆様には、日頃より本学科にご支援をいただきお礼申し上げます。平成29年度電気電子工学科の学科主任を務めさせていただいております大津康徳と申します。学科の近況をご報告させていただきます。本学科の学部4年生や大学院生は日頃の研究成果を国内外の学会・研究会にて発表し、平成28年度では多数の講演奨励賞（平成28年6月11日に九州表面・真空研究会にて大学院生2名受賞、12月10日に日本知能情報ファジー学会九州支部講演会にて学部4年生1名受賞、平成29年2月にIEEE福岡支部にて大学院生2名受賞）を受賞しております。また、求人企業数も年々増加傾向にあり、平成28年度では就職希望学生約80名に対して713社から求人依頼がございまして、その就職率は100%を達成しております。学科の最新情報をホームページ（http://www.ec.saga-u.ac.jp/fse_ee/）に掲載しておりますので、是非ご覧いただければ幸いに存じます。



知能情報システム工学科

学科主任 花田 英輔 教授

知能情報システム学専攻は現専攻名となって以来20年を経ました。最近「マイクロソフトイノベーションセンター佐賀」の立上げに深く関わると共に、多くの教員が佐賀県内のIT企業等と協働で教育研究活動を活発に行っています。

平成28年度の学部卒業生64名は、23名が大学院に進学し、他も全員が就職しました。博士前期課程修了生17名は全員就職し、昨年度は学科・専攻共に就職率100%を達成しました。近年は自動車の制御システム開発企業に人気が集まるなど、就職先の幅は広がっています。

本専攻（学科）では平成30年度からカリキュラム改訂を予定しており、また近い将来に学部・大学院の改組が計画されています。カリキュラム改訂により、本専攻はデータ解析能力を持つデータサイエンティストの育成にも取り組んで参ります。改組について具体的な発表はまだですが、学科の統合なども考えられており、より幅広い知識を持つ人材の育成を行うことになると考えられます。



都市工学科

学科主任 小島 昌一 教授

今回は平成28年度の在学生・卒業生の活躍の一部を紹介します。まず、資格取得に関しては、技術士第一次試験に35名の学部生が合格しました。また、一級建築士と二級建築士にそれぞれ6名ずつ卒業生が合格しました。学修に関しても、大学院生20名がカザフスタンで開催された建築設計のワークショップに参加するなど、海外でも活躍しています。

一方、卒業・修了後の進路については、民間企業への就職が極めて好調な状況です。平成28年度は、72名の学部卒業生のうち18名が大学院進学、11名が公務員、その他の多くがゼネコンをはじめとする民間企業に就職しました。また、大学院修了生18名の進路については、ゼネコン、建築設計事務所、建設コンサルタント、大学院博士後期課程進学となっています。

都市工学科では、技術士・建築士等の資格取得を念頭に置いた技術者教育を実施しており、卒業生の多くがこれらの資格を生かせる進路を選んでいきます。



機能物質化学科

学科主任 北村 二雄 教授

平成29年度機能物質化学科主任及び循環物質化学専攻長の北村二雄です。よろしくお願ひ致します。

機能物質化学科、循環物質化学専攻及び先端融合工学専攻（化学系）の学生は、理学と工学が融合した化学教育を受け、学会発表並びに論文発表を行い、活発に研究活動を行っております。平成28年度は学部卒業生は90%（企業へは100%）、修士修了生は100%の就職率で、就職状況も好調です。

いま、機能物質化学科は、化学の学修を基盤に、材料化学分野と生命化学分野を融合した新しい学科に生まれ変わろうとしています。この学科の卒業生は、物質を原子・分子レベルで理解し新しい物質を創製し、セラミックスを始めとする材料工学、物質物性評価や材料分析に応用される分析化学を、また、生物が営む生命現象のメカニズムを解明し、工学に応用する生命化学を学びます。将来的に、社会基盤に欠かせない化学材料の開発や医療の飛躍的な発展や食料・環境問題の解決につながるなど、安心で、健康的な私たちの生活、さらには地域経済の発展にも大きく寄与していきます。



STEPsの紹介と取り組みについて

理工学部 物理科学科 4年
辻 茂幸

皆様こんにちは。STEPsの今期のリーダーの辻茂幸です。STEPsとは学部長授賞式で受賞した学生がさらなる発展、向上を目指すために設けられた団体で、主に国際交流の活動を行っています。STEPsの設立は、2010年に遡ります。理工学部の学部長表彰者の中から希望者を募り、海外研修を実施したようです。そこで韓国の名門校を訪問した際、韓国の学生の意識の高さと語学力の高さを目の当たりにし、帰国後に研修参加者同士で議論が行われ、国際交流促進を目的とした組織を創ろうということになり、2011年に創設されたようです。STEPsは、佐賀大学の国際化への貢献、



中国企業視察にて（前列右3番目）

学生の協調性や積極性の向上、日本や海外への視野の拡大を目標にしています。

STEPsのメインの活動は海外研修です。海外研修への準備とし

て、世界共通語である英語を鍛えるために、週に1度集まってEnglish Timeという英語だけで会話を行う時間をつくっています。



定例勉強会にて（左2番目）

会話の内容は、メンバーが考えた面白そうなテーマや、興味深いテーマで話を進めています。また、活動に興味をもった留学生が参加することもあります。海外の先生や研究生から地元での紹介をさせて頂くこともありました。また、交流会を行います。去年は佐賀大学の留学生と一緒に昼食をとったり、海外から訪問された学生と交流をしました。

海外研修では、去年は中国へ行きました。研修先では中国の雲南省にある昆明という地域の企業と上海の同濟大学へ訪問し、STEPsの紹介や各自自己紹介をし、その学生達と交流しました。現地の様子を見学させて頂いたり、一緒に夕飯をとったりと素晴らしい体験が出来ました。海外へ行くことで、英語を使って多くの人とコミュニケーションをとることが出来、海外のことをもっと知りたくなったり、協調性や積極性が増したりと多くの得られるものがありました。今年はインドネシアに行く予定です。これからもより活発に活動出来るように努めていきたいと思っています。

在学生

これまでの大学生活を振り返って

理工学部 電気電子工学科 4年
三坂 祐人

私が電気電子工学科に入って4年目になりますが、これまでの自身の大学生活を振り返ってみると、1、2年の時の勉強が大変だったな、と感じています。電気電子工学科での1、2年の授業は、微分積分やベクトル解析、複素関数などといった数学の科目が多いのですが、試験前はひたすら演習問題を解いては見直して…の繰り返しでした。計算用紙を買ってきたレポート用紙が試験勉強であつという間になくなった記憶は今でも覚えています。

2年からは実験が始まったのですが、実験前の予習から実験後のレポート作成までみんながよく苦労していました。空きコマさえあれば図書館に行って文献を探したり、友達と集まって一緒に考察の課題を考えたりしていました。深夜遅くまで眠気に負けないようにレポートを書いたりとはかなり苦労していましたが、あの苦労があったからこそ今の研究に生かされて

いるのかなと感じています。

入学してから3年間学業に励み続けてきた結果、2017年度の理工学部長賞を頂くことになりました。私にとってこれまでの努力がこのような結果に結びついたことはとても嬉しく感じています。

この理工学部長賞の授賞式後の座談会でSTEPsの活動紹介がありました。STEPsの紹介を聞いて、グローバルな交流のある佐賀大学にしながら、何もせずに卒業するのはもったいないと思い、STEPs入ることにしました。

STEPsに入って早速留学生と交流する機会があったのですが、先輩メンバーの自己紹介や留学生とのトークを聞いて、メンバーの語学力・コミュニケーション能力の高さを感じました。これまで英語はあまり勉強しておらず苦手でしたし、人とコミュニケーションを取る機会もそれほど多くはありませんでした。だからこそ、私はこのSTEPsでの活動を通して英語スキルの向上はもちろん、自分の意見を自分の言葉で話せるようになりたいと思っています。理工学部長賞を頂いた身として、さらにはSTEPsの一員として、社会人になって佐賀大学で培ったことを十分生かせるように今後も勉学に励み続けようと思っています。

卒業後の状況

株式会社 戸上電機製作所 技術本部 製品開発部 高圧開発グループ
梶島 一稔
(工学系研究科 電気電子工学専攻・H23年修了)

○卒業後の仕事の状況

私は2011年3月に卒業し、戸上電機製作所に就職しました。

弊社の製品は、一般的に知られているような製品ではありませんが、社会の電気インフラを支える重要な製品となります。私の所属する高圧開発グループでは『開閉器』と呼ばれる製品の設計・開発を行っています。開閉器とは簡単に言えば、家庭内にあるブレーカーの



高い電圧用というようにイメージで、主に電柱の上や路上で見かけることができます。

業務についてですが、配属されてからはお客様や工場内の対応を行う保守・メンテナンス業務に従事していました。日々問合せの対応を行い、過去から現在までに至る製品の知識や自社製品の使用のされ方、また、製品構造などを知ることができ、現在の業務に大いに

役立っており、私を支える基盤となっています。現在は製品の設計・開発業務を行っており、新しい製品について、お客さまが要望される仕様に基づき、思索を巡らせ、より良い製品を生み出せるよう努めています。
○前回の就職支援講座でのトピックス

今回が初めてということでしたが、私が予想していたよりも多くの学生が参加しており、就職活動や企業研究について意欲的であったと感じました。私が就職活動していたときに比べて、動き出しも早く感心することばかりでした。

自分が学生のときの体験を話してほしいとのことでしたが、正直参考にできるような話ができなかったかあまり自信がありません。自身のことを話すよりも、学生の悩みや相談に乗るような感じで話をしたかったので、それぞれのグループでの座談会が始まると自己紹介後すぐに質問を受けるという形で進めました。多くの学生の質問や意見について受け答えする際、私も似たような不安や悩み、また将来の展望を持っていたことを思い出しました。1つのグループ25分程度の短い時間ではありましたが、学生と近い年齢の話し相手として、少しでも今後につながるような手助けができていれば、と思います。

今回は貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



卒業・修了生

何のために

サイボウズ株式会社 マーケティング本部
立石 晴久
(知能情報システム学科・H18年卒業)

サイボウズという、ソフトウェアメーカーで働いています。

新卒で入社して、10年ほど営業職に就き、2016年の終わりからマーケティング部門に異動となり、他メーカーとの協業を進めています。

入社当時は100名程のベンチャー企業でしたが、今では600名近くの規模の大きさになりました。当時から



すると考えられないのですが、“働き方”という点で皆様から注目していただける会社になったりと、ずっと同じ会社にいますが違う会社で働いているような刺激があります。



2年前に子供が生まれ、生活のリズムが大きく変わりました。

1日24時間では足りない状況が訪れました。なかなか捨てるのが苦手だったのですが、やらないことを決めてみたら、視野が一気に広がりました。

個人的にはそんなに生きたくないですが、100年生きる時代が来ると言われています。いま働いている会社はずっとある保障もないと思っています。

どうせならやりたいことをたくさんやろうと思い、現在、Jリーグが主催するスポーツビジネスの講座に通い始めました。ビジネスサイドから日本サッカーの発展に少しでもお役に立てたらなと思っています。

学生表彰を行っています！

理工学部同窓会では学生の活動が活性化することを期待して、学業の他、社会活動、課外活動、学術研究活動などの優れた業績に対して、次のような表彰を行っています。同窓会会費納入者に限定。

(1)佐賀大学同窓会会長賞：社会活動、課外活動、学術研究活動において、地域貢献が顕著であると認められた場合。各同窓会推薦。原則として毎年各学部1名又は1団体。学位記授与式において授与。平成28年度の理工学部の学生は、

氏名：荒牧 優希（都市工学科：H27）

概要：基山町の町づくり市民活動団体「基山フューチャーセンターラボ」がまちづくり活動拠点整備として休日本酒酒造会社の建物の改修するにあたり、本チームが改修デザインのアイディアを持ち寄り、市民活動団体メンバーと共に竣工した。代表の荒牧は建設会社にインターンシップに行き基山町・長崎街道沿いの街並みの魅力を研究するなど継続的に地域貢献活動を行っている。



(2)菱実会賞：佐賀大学理工学部の在学生（1～4年生）で、社会活動、課外活動、学術研究活動等において成果や評価が顕著であると認められた場合。自己推薦。原則として毎年数件を選定。平成28年度の表彰者は1名のみ。多数の応募を期待して、現在募集中（10月31日締切）。

氏名：音谷隼平（機能物質化学科：H25入）

題目：自身の幅広い関心とソーシャルスキル向上を促す社会貢献活動及びNPO法人の運営

概要：NPO法人「佐賀大学スーパーネット」で、大学1年から現在まで活動を継続。2、3年時に副理事長としてメンバーの統率や事務作業、外渉などの運営を主体的に行った。環境、教育、農業分野の毎年主に活動した。（詳細内容省略）



(3)理工学部学生表彰支援



平成28年度表彰受賞者

（敬称略）

毎年理工学部の成績優秀者（各学科の2年生、3年生から1名ずつ選出：各学科長）を理工学長が表彰。理工学部同窓会も共催して、表彰式では同席して挨拶している）。平成28年度の成績優秀者を4月4日に表彰しました。

学 科	新3年	新4年
数理科学科	長 木 将 人	平 藪 康
物理科学科	江 川 尚 吾	川 崎 稔 真
知能情報システム学科	野 柳 晴 華	安 倍 和 希
機能物質化学科	吉 永 大 起	湊 脇 菜 子
機械システム工学科	澁 谷 光 一 郎	花 田 裕 二
電気電子工学科	西 村 昭 彦	三 坂 祐 人
都市工学科	今 村 建 太	福 吉 晴 生

お知らせ

今年度（平成30年3月）定年退職される先生方

平成29年度（H29.4.2～H30.4.1）
前田 定 廣 教授（数理学専攻）
米 山 博 志 教授（物理学専攻）
大 和 武 彦 教授（先端融合工学専攻）

ご退職後は連絡が取りづらくなる
事もありますので、3月までにお
手当くださるよう、前もってお知
らせいたします。



役員名簿

（敬称略）

会長	穂屋下 茂（機械S45入）
副会長（会報発行）	中 島 道 夫（化学S43入）
副会長（支部強化）	島 公二武（機械S46入）
理事（支部強化）	宮 地 幸 夫（工化S46入）
理事（支部強化）	山 口 智 啓（生機S48入）
理事（学生支援）	池 上 康 之（生機S57入）
理事（庶務）	津 留 保 生（電気S61入）
理事（庶務）	高 崎 光 浩（化学S56入）
理事（情報管理）	米 満 潔（化学S56入）
理事（会報発行）	田 中 高 行（電子S57入）
理事（情報管理）	小 玉 純 士（建設S57入）
理事（会報発行）	平 尾 泰 博（生機S49入）
理事（会報発行）	測 上 貴由樹（都市H12入）
監事	椿 忠 彦（物理S48入）
監事	深 井 澄 夫（電子S49入）
監事	磯 野 健 一（工化S59入）
顧問	秋 永 正 幸（機械S41入）

菱実会の動き

H28 7月 ▶ H29 6月

- H28.7.1 ○ 佐大同志会会報「楠の葉」No25 発行
- H28.7.3 ○ 佐大同志会「鳥栖・基山地区会」／基山町民会館
- H28.7.20 ○ 佐大同志会「巻頭言」打ち合わせ
- H28.7.31 ○ 佐大同志会「佐賀県内地区世話会」／佐賀大学菱の実会館 多目的室
- H28.8.7 ○ 佐大同志会「杵島地区会」／やかた
- H28.8.7 ○ 佐大同志会「三養基地区会」／卑弥呼の湯
- H28.8.8 ● 理工学部同志会「役員会」／菱の実会館 多目的室
- H28.8.17 ○ 佐大同志会「巻頭言」練習
- H28.8.19 ○ 佐大同志会「佐賀市役所支部総会・懇親会」／マリカール創生 佐賀
- H28.8.21 ○ 佐大同志会「武雄地区会」／武雄 八百重
- H28.8.24 就職支援ヒヤリング 理工学部同志会参加
- H28.8.24 ○ 佐大同志会「巻頭言」練習
- H28.9.1 就職支援ヒヤリング 農学部同・有朋会・楠葉同参加
- H28.9.3 ● 理工学部同志会「総会・懇親会」／佐賀大学菱の実会館 多目的室（懇）「海人」
- H28.9.3 ○ 佐大同志会「鹿島・嬉野・藤津地区会」／家督屋
- H28.9.8 ○ 佐大同志会「臨時代表役員会」
- H28.9.14 ○ 佐大同志会「巻頭言」練習
- H28.9.24 芸術地域デザイン学部創設記念式典／ホテルニューオータニ佐賀
- H28.10.2 ○ 佐大同志会「神埼地区会」／菊水
- H28.10.5 ○ 佐大同志会「楠の葉」No26 編集会議
- H28.10.6 ○ 佐大同志会「巻頭言」練習
- H28.10.6 ● 理工学部同志会「菱の実」No18編集会議
- H28.10.13 ○ 佐大同志会「代表役員会」
- H28.10.15 ○ 筑後支部総会・懇親会／ランヴィエール勝島
- H28.10.20 ○ 佐大同志会「秋期定例役員会」／大学会館
- H28.10.29 ○ 大分支部総会・懇親会／大分アリストンホテル
- H28.11.4 ○ 長崎支部総会・懇親会／ホテルニュー長崎
- H28.11.7 ○ 佐大同志会「学生支援・支部強化合同部会」
- H28.11.9 ● 理工学部同志会支援「キャリアデザインセミナー」（都市工学科）卒業生2名
- H28.11.12 ○ 東京支部総会・懇親会／新橋亭
- H28.11.12 大学祭（本庄キャンパス）～13日
- H28.11.13 ○ 小城・多久地区会役員会／小城牛津公民館
- H28.11.17 ● 理工学部同志会「役員会」
- H28.11.19 ○ 第24回佐賀県青春歌祭／エスプラッツホール3F
- H28.11.19 ○ 佐世保支部総会・懇親会／レオプラザホテル
- H28.11.20 ○ 伊万里地区会／伊万里公民館
- H28.11.24 ○ 佐大同志会「学生支援・支部強化合同部会」
- H28.11.25 ● 理工学部同志会支援「キャリアデザインセミナー」（数理学専攻）卒業生1名
- H28.11.26 佐賀大学ホームカミングデー
- H28.11.26 ○ 諫早支部総会・懇親会／L&Lホテルセンリュウ
- H28.11.30 ○ キャリアデザイン講座／講師 窪 淳朗 氏（教育学部）
- H28.11.30 佐賀大学農学部取履感謝祭／佐賀大学農場
- H28.12.5 ● 理工学部同志会支援「キャリアデザインセミナー」（機能物質化学科）卒業生2名
- H28.12.7 ○ キャリアデザイン講座／講師 立石 晴久 氏（理工学部）
- H28.12.7 ● 理工学部同志会「第1回 菱実会賞」表彰式／授賞者 音谷 隼平 氏
- H28.12.7 ● 理工学部同志会「理工学部との意見交換会」／佐賀大学菱の実会館 多目的室
- H28.12.12 ● 理工学部同志会2回目「菱の実」No18編集会議
- H28.12.15 ○ 佐大同志会「巻頭言」練習
- H28.12.16 ● 理工学部同志会支援「キャリアデザインセミナー」（物理工学科）卒業生2名
- H28.12.20 ● 理工学部同志会支援「キャリアデザインセミナー」（知能情報システム学科）卒業生2名

- H28.12.21 ○ キャリアデザイン講座／講師 岩下 幸司 氏（農学部）
- H29.1.1 ○ 佐大同志会会報「楠の葉」No26 発行
- H29.1.1 ● 理工学部同志会会報「菱の実」No18 発行
- H29.1.5 ● 理工学部同志会支援「キャリアデザインセミナー」（電気電子工学科）卒業生2名
- H29.1.19 ○ 佐大同志会「情報部会」
- H29.1.19 ○ 佐大同志会「巻頭言」練習
- H29.1.20 ○ 佐大同志会「佐賀大学教職員支部会」／佐賀大学菱の実会館 多目的室
- H29.1.20 ● 理工学部同志会支援「キャリアデザインセミナー」（機械システム工学科）卒業生2名
- H29.1.28 ○ 鹿児島支部総会・懇親会／レクストン鹿児島
- H29.1.30 ○ 佐大同志会「学生支援部会」
- H29.2.1 ○ 佐大同志会「後援会との打ち合わせ会」／カフェソネス
- H29.2.2 ○ 佐大同志会「支部強化部会」
- H29.2.4 ○ 有田地区会／「有田ボーリング」
- H29.2.5 ○ 小城・多久地区会
- H29.2.7 ○ 佐大同志会「庶務部会」
- H29.2.11 ○ 関西支部総会・懇親会／「神仙閣」大阪店
- H29.2.13 ○ 佐大同志会「巻頭言」練習
- H29.2.16 ○ 佐大同志会「代表役員会」
- H29.2.22 ○ 佐大同志会「佐大支部会」／佐賀大学菱の実会館 多目的室
- H29.2.23 ○ 佐大同志会「巻頭言」練習
- H29.2.23 ● 理工学部同志会「役員会」
- H29.2.28 ○ 佐大同志会「会報発行部会」
- H29.3.23 ○ 佐大同志会「巻頭言」練習
- H29.3.24 佐賀大学学位授与式／佐賀市文化会館
- H29.3.24 ○ 佐大同志会「佐賀大学同志会長」表彰教育）副島 佳織 氏（代表）経済）岡島 貴弘 氏（医学）古川 祐太朗 氏（理工）荒牧 優希 氏（代表）農学）苗代 麻里 氏
- H29.3.27 ○ 佐大同志会「庶務部会」
- H29.3.30 ○ 佐大同志会「佐賀大学教職員支部」定年退職者歓迎会／佐賀大学菱の実会館 多目的室
- H29.4.4 佐賀大学入学式（学部生・大学院生合わせて 1,702名）
- H29.4.4 ● 理工学部在学生表彰
- H29.4.5 新入生オリエンテーション
- H29.4.13 ○ 佐大同志会「第1回学習会・第1回代表役員会」
講師：渡 孝則 氏 佐賀大学工学系研究科長（新理工学部長）
「理工学部の改組を含むこれからの動向について」
- H29.4.19 ○ 佐大同志会「巻頭言」練習
- H29.4.20 ○ 佐大同志会「第2回学習会・春期定例役員会」／佐賀大学「菱の実会館」多目的室
講師：西郡 大 氏 佐賀大学アドミッションセンター教授
- H29.4.21 ● 理工学部同志会 監査
- H29.4.25 ● 理工学部同志会「臨時役員会」
- H29.5.1 ○ 佐大同志会「楠の葉」No27 編集会議
- H29.5.8 ● 理工学部同志会「菱の実」臨時増刊号編集会議
- H29.5.9 ○ 佐大同志会「臨時代表役員会」
- H29.5.14 ○ 熊本支部総会・懇親会／メルパルク熊本
- H29.5.15 ● 楠葉同志会「役員会」
- H29.5.18 ○ 佐大同志会「佐賀大学との意見交換会」／佐賀大学「菱の実会館」多目的室
- H29.5.25 ○ 佐大同志会「巻頭言」練習
- H29.5.31 ● 理工学部同志会「第1回 実行委員会」／佐賀大学「菱の実会館」多目的室
- H29.6.7 ● 佐賀市地区会世話人会
- H29.6.8 ○ 佐大同志会「第3回学習会・第3回代表役員会」
講師：石丸 新 氏 楠葉同志会前会長
- H29.6.14 ● 理工学部同志会「理工学部との意見交換会」／佐賀大学「菱の実会館」多目的室
- H29.6.27 ○ 佐大同志会「巻頭言」練習

（○印は佐賀大学同志会、●印は理工学部同志会、無印は佐賀大学）

広告募集

目的：地元企業の広告掲載による在学生への地元企業の認知度アップ

■ 募集概要

- ・ 1回／年発行（毎年1月）の会報に地元企業のPR広告を掲載する。
- ・ 広告掲載企業の条件は佐賀大学卒業生が在籍する企業とする。
- ・ 広告掲載企業は佐賀県内及び近隣市町村にある企業とする。
- ・ 掲載希望は佐賀大学理工学部同窓会事務局で受け付ける。
- ・ 掲載内容に関しては事前に会報編集委員会の了解を得る。
- ・ 掲載記事はデータとして企業からの持ち込みとする。
- ・ 広告掲載料として¥20,000／1コマ（170×115mm位）とする。
- ・ 詳細は理工学部同窓会HPに記載する。



在学生と卒業生をつなぐ

菱実会を知っていますか？

- ・ 佐賀大学理工学部卒業生 18,000 人の同窓会です。
- ・ 在学生の力になれるよう様々な活動を行っています。
(キャリアデザインセミナーの実施、OB/OG による講演会等…)

佐賀大学理工学部同窓会 菱実会 <http://sadai.jp/alumni/ryouujitsukai/>